

学術メディアセンターだより

すっかり寒くなり、冬の季節となりました。

みなさんお元気ですか？

今回は冬にも温かな気分になれる本、一年生がおすすめする本などを取り上げました！

ぜひお手に取ってご覧ください！

TOPICS

p1

元気が出る本

p2~3

おすすめの本

p4

スポーツの本

学術メディアセンターだより 10 号

通巻 63 巻 2021 年 12 月(冬号)

順天堂大学医療看護学部

学術メディアセンター運営委員会

〒274-0023

千葉県浦安市高洲 2-5-1

☎047-335-3111

元気が出る本

新型コロナウイルスの自粛が続く中、塞ぎこみがちな生活を送っていませんか？

今回私たちは、読んだあと元気になれるような本を紹介したいと思います。寒くて外に出るのが億劫になる冬、本を読むのにちょうど良い季節かもしれません。



三匹のおっさん 有川浩 新潮文庫

今回私が紹介する本は、有川浩の『三匹のおっさん』です。この本は、「還暦ぐらいでジジイの箱に蹴り込まれてたまるか！」とかつての悪ガキ三人組、剣道の達人・キヨこと清田清一、柔道の達人・シゲこと立花重雄、機械いじりの達人の頭脳派・ノリこと有村則夫が自警団を結成し、ご近所に潜む悪を斬る爽快で痛快なストーリーです。本作は6編から構成される短編のため、サクサク読むことができ、個性的なおっさんたちがそれぞれの特技を用いて事件を解決する様はスカッとして気持ちがいいです。また、おっさん達の活躍だけでなく、キヨの孫の祐希とノリの娘の早苗の恋の行方も見どころとなっています。くすっと笑えて心温まるそんなお話で、読了感のよい作品です。続編も出ているので、興味のある方はぜひお手に取って読んでみてください。

のほほん絵日記 さくらももこ 集英社文庫

この本は、さくらももこの日常を描いた絵日記です。息子との会話やたまに起こる小さな事件など、1ページ1ページにクスッと笑える日常が詰まっています。カラーの絵が題名通りのほほんとした雰囲気醸してくれています。私は息子のエピソードが好きで、子供らしい無邪気な発言と可愛らしさが微笑ましくなりました。1ページ完結なので、どこから開いても楽しむことができ、気軽に手に取ることができます。少し皮肉っぽいセリフやさくらももこや息子の独特な視点を見ることができ、さくらももこをより知ることができて興味深いです。自分も何気ない日常を大切にしたい、明日も頑張ろうと思えてくる、そんな本です。みなさんもふふっと笑いたいとき、少し元気がない時にお手に取ってみてはいかがでしょうか。





私のお気に入りの本

君と会えたから…… 喜多川 泰

〈ディスカヴァー・トゥエンティワン〉

夢とは？夢を達成するとは？？「円」と書いて「ありがとう」と読む？？将来に対する漠然とした不安を抱えながらも、自分のやるべきこともやりたいたいことも見つけれず何もせず、無気力に過ごしていた平凡な高校生の僕のもとに、ある夏の日、美しい女の子がやってきた。そして、彼女から、その後の僕の人生を変える教えを聞くことになる。いつしか彼女に恋心を募らせていた彼の前に次第に明らかになっていく彼女の秘密とは……

僕と彼女が織り成す、切なくも美しい、ひと夏の物語です。1 度しかない人生だからこそ、自分らしい最高の人生を送ってほしいと作者から送られた 7 つのメッセージ。自分の生き方について見つめ直すきっかけになると思います。ストーリーに感情移入しながら自己啓発の内容がスッと入ってくるため、自己啓発本が苦手な方でも非常に読みやすい作品だと思います！！ぜひお手に取ってご覧ください！



ブレイブ・ストーリー 宮部みゆき

〈角川文庫〉

私が紹介するのは宮部みゆきの「ブレイブストーリー」です。この本は、成績はそこそこでゲームが好きな小学 5 年生の男の子、亘の冒険物語です。平凡ながらも幸せな日々を送っていた亘は、ある日突然父親から「この家を出てゆく」と告げられます。この両親の離婚話をきっかけに、亘の日常は次第に失われて行ってしまう。バラバラになった家族、失われた日常を取り戻すために異世界へと旅立ち、様々な苦難を乗り越えて願いをかなえていくというファンタジー小説です。RPG のような世界観で、主人公の亘と一緒に冒険しているような気持ちになれます。また疾走感があり、どんどん読み進めてしまいます。RPG やファンタジーが好きな人にはもちろん、そうでない人も楽しめる作品です。是非、お手に取って読んでみてください。



私のお気に入りの本

りさ子のガチ恋♡俳優沼

松澤くれは

〈集英社文庫〉



私がおすすめるのは「りさ子のガチ恋♡俳優沼」です。主人公のりさ子は26歳のOLで2.5次元俳優の瀬川翔太の大ファンで、彼が出演する舞台は全通（複数回ある公演にすべて参加すること）したり、高額なプレゼントを贈ったり、禁止されている出待ち（出入口で出演者が出てくることを待つこと）を行ったりするほどでした。しかし、瀬川翔太に彼女がいることがバレるとりさ子は豹変します。それは、翔太やその彼女に嫌がらせをしたり、空想の彼女ブログを書いたりするようになることでした。それも段々エスカレートしていき収集が付かなくなるという話です。

この小説を読む前は、自分は絶対に迷惑行為をしないだろうと思っていましたが、読み終わると誰にでも迷惑行為をするファンになってしまう可能性があるなと思いました。SNSの描写（愚痴垢）や週刊誌の紙面など、リアルな怖さがある小説なので、推しがいる方は是非読んでみてください！

浜村渚の計算ノート

青柳碧人

〈講談社文庫〉

「数学の地位向上のために国民全員を人質とする」

少年犯罪の急増を受け、他人を尊重し弱者をいつくしむ心を育成するため、道徳や読書などの心を伸ばす教科が重要視され、数値などの事実だけを重んじる理系科目が義務教育から削除されるようになった。それに対し、天才数学者・高木源一郎はテロ活動始める。その内容は、彼の作った有名教育ソフトで学んだ日本人は予備催眠を受けており、命令次第では「同様に確からしい」確率で殺人の加害者にも被害者にもなりうるというもの。そのテロに対抗し警視庁が探し出したのは1人の女子中学生。彼女が使うのは誰もが知っている「数学」だけ。数学少女はテロから日本を救えるのか？新時代数学ミステリー！数学が大好きなあなたも、数学を諦めてしまったあなたも、是非お手に取って読んでみてください。



スポーツがしたくなる本

トリプルエース 汐見俊一 富士見L文庫

卒業アルバムに覚えのない寄せ書きを見つけた東風は、筆跡から去年死んだ親友の西之園のものであると確信します。そして「俺の代わりにインターハイを目指してほしい」という西之園の夢を叶えるため、東風は高校でジュニアテニスプレーヤーである夏目に声をかけるというところから物語が始まります。死んだ親友からのメッセージを叶えたい東風とすでにテニスをやめてしまった夏目。それぞれの思いが交錯していて、登場人物たちの背負う過去や成長にも目が離せない作品です。また、この作品はスポーツだけではなく、死んだ西之園からのメッセージというミステリーな要素もあり、先が気になる描写が多くあります。読みやすい作品だと思うので是非一度手に取って読んでみてください。



片翼チャンピオン 平山譲 講談社文庫

皆さんは今まで当たり前に行っていたことが突然できなくなったらどうしますか。この本は脳卒中を患い、後遺症に悩み思うようにいかず絶望の淵に立たされた3人がそれぞれスポーツを通じてもう一度生きることの意味を見つけていく物語です。後遺症で半身不随となり、なぜ自分がこういう状態になってしまったのか怒り嘆くと同時に、思うように出来なくなってしまうことにより精神的にも追い詰められ、自分だけがどこか別世界の人ではないのか、そんな孤独に苛まれてしまいます。そんな彼らを救ったのはスポーツでした。彼らは失った楽しさや打ち込む情熱をスポーツを通して思い出していきます。たとえ絶望や孤独を感じても自分だけじゃない、同じように仲間がいるから頑張れる、諦めずに前へ進んで一杯生きていこうとスポーツに打ち込む姿にとっても勇気づけられます。是非手に取って読んでみてください。(3話の短編集となっています)



編集後記

今年度の学術メディアだより冬号では、元気が出るような本、1年生が読んだおススメしたい本、スポーツに関する本について紹介しました。外出するにも寒さが厳しくなり、暖かい家の中で過ごすことが多い時期になりましたね。今回紹介した中から気になる本はありましたか？興味がありましたら、家で過ごす時間が多いこの機会に、是非手に取っていただけたら嬉しいです！最後まで学術メディアだよりを読んでいただき、ありがとうございました。